

その他の電気機械器具製造業における通路を起因物とする死傷災害発生事例（2017年）

2017年発生月	時間	死傷災害発生事例	年齢	労働者規模
3	11~12	出張にて、製品不具合の対処のため倉庫で手直し作業を行っていた際、両手に工具を持ち倉庫内を移動し、柱間の筋交いに気付かず足を引っ掛け転倒し、床に左膝を打ちつけた。	60	500~999
3	12~13	洗濯機の設置作業中、制服の胸ポケットに入れていた伝票が風で飛ばされてしまい、慌てて回収しようと塀を飛び越えて着地した際に左足を負傷した。	25	1~9
5	18~19	終業後、工場敷地内を駐車場に向かって歩いていたところ、目測を誤り、前のめりに転倒して右手甲骨折、前歯折損、胸を強く打った。	54	1~9
6	14~15	当社工場内において、製品（30kgの槽）を運んでいる時に、鉄板の所で足を滑らせ転倒した際、腰・背骨・臀部を打ち、亀裂骨折した。	59	30~49
6	9~10	工場内で平面研削盤の操作が終わり、その場を離れようとしたところ、エアのホースに足をとられ、転んで左膝を強打した。	73	10~29
6	19~20	工場内で、業務終了後にタイムカードを打刻しようとして歩行していたところ、ペンキ塗りがたての注意書きに気付かず、ペンキに滑り転倒した。その際にお尻を強打した。	56	30~49
7	13~14	工場の水処理施設で作業中、床の小さな配管ボックスに躓き転倒した。その際、右手をついた場所に排水口の立ち上がりがあり、その金属部分で右掌を負傷した。	61	50~99
	18~	会社内の荷物を2階から1階に運んでいる途中、1階の入り口で転倒した。その際、		1~

7	19	左足首を捻挫し、右足を強打して骨折した。	44	9
9	17~ 18	当社の資材部に所属する被災者は、社内の別の建屋より書類を回収し自部署に戻る途中、自部署建屋1階の通用口より入った際に、足を滑らせ転倒し、左膝と右肘を打撲した。	50	~ 999
10	14~ 15	3階の研磨室で、流し台からフィルターを左手に持ち、右斜め後ろ方向に向きを変えた時、流し台横に設置してあるエアガンのチューブに左足を引っ掛け躓いて、右膝を強打し、後十字靭帯脛骨付着部を剥離骨折した。	27	~ 999
10	16~ 17	バレルメッキ室にて実習生を連れてバレル室にいる作業者を介して業務指示を通訳してもらう予定で、声掛けした実習生が付いて来ていない事に気付いたため、小走りと呼びに行こうと移動していたところ実習生が来たので止まろうとした際、右足を滑らせた。滑ったことにより転倒する際に曲がった左膝を床にぶつけた。	49	~ 499
12	19~20	勤務終了後、帰宅する為に構内駐車場へ徒歩移動中、通路凍結箇所に気付かず、滑って転倒し、右膝を骨折した。	59	~ 99
12	16~17	本社1号館1階玄関にて年末大掃除で床を掃除していたときに、床に撒いてあったワックス剥離剤の希釈液の上を歩いて、誤って転倒し、後頭部を打った。	52	~ 299

出典：https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pgm/SHISYO_FND.aspx(職場のあんぜんサイト)

Return to：https://www.jisha.or.jp/international/topics/202206_11.html